

平成29年度 シラバス (資源増殖)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科(科目)	水産(資源増殖)	単位数	3単位	学年(コース)	3学年(資源育成コース)
使用教科書	資源増殖(実教出版)				
副教材等	なし				

1. 学習目標

水産増養殖に関する基本的な知識と技術を習得させ、水産物の資源増殖と生産性の向上に活用する能力と態度を育てる。

2. 指導の重点

有用魚介類の種苗生産と資源増殖に関する理解を深めるために

- ①世界の水産業と資源の現状を学習し、栽培漁業の必要性和意義について理解を深めることを目指します。
- ②生物餌料の培養法と増養殖対象種の種苗生産および養殖技術を理解することを目指します。
- ③水産増養殖業を担う人材として、必要な知識、技能を身に付けることを目指します。

3. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	主な水産増養殖 1学期中間考査	○初期餌料	○2年次で学習した初期餌料について復習をし、その培養方法について必要な知識を身に付ける。 ○ヒラメ・マダイの種苗生産	12	授業の取組・態度 定期考査 ノート
6 7		○ヒラメ・マダイの種苗生産		22	
9	主な水産増養殖 2学期中間考査	○オニオコゼの種苗生産	○オニオコゼの種苗生産に必要な知識を身に付ける。 ○アユの種苗生産 ○サケの種苗生産	18	
10 11		○アユの種苗生産		12	
12		○サケの種苗生産		12	
	2学期期末考査				
1		○ナマコの種苗生産	○ナマコの種苗生産に必要な知識を身に付ける。	10	
2	学年末考査	○マコンブの養殖	○マコンブの養殖法について必要な知識を身に付ける。	10	

計 96 時間 (55分授業)

4. 課題・提出物等

定期考査終了後にノートを提出する。

5. 評価の規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
水産増養殖の意義について理解し、関心を持つとともに、積極的に授業に取組もうとしている。	水産増養殖に関する諸問題の解決を目指して、創意工夫する能力を身に付けようとしている。	授業で勉強したことを元に、餌料培養や種苗生産を行うことができる。	本県で行われている魚介類の餌料培養法や種苗生産技術を理解している。
以上の観点を踏まえ、 <input type="checkbox"/> 授業への取組状況 <input type="checkbox"/> ノートの提出、 <input type="checkbox"/> 定期考査 などから、総合的に判断します。			

6. 担当者からの一言

将来、養殖関連企業等への就職を考えている人にとってとても重要な科目である。有用魚介類の種苗生産や養殖技術について重点的に、わかりやすく学ぶことができます。

(担当：貝田雅志)